

鉄道、バス相次ぎ運休

大阪震度6弱 AMDA調整員派遣



新幹線の運行再開を待つ利用者ら（18日午前9時23分、岡山市北区のJR岡山駅で）

大阪府北部を震源に震度6弱の地震が発生した18日、県内でも岡山、倉敷両市などで震度3を観測した。県によると、地震による負傷者や建物への被害などは確認されていないが、新幹線のダイヤが大幅に遅れるなど交通が乱れ、修学旅行を延期する学校も出た。民間や一部の自治体では被災地支援に向けた動きも始まった。

JR岡山駅（岡山市北区）の改札口付近は、新幹線の運行見合わせなどで地震直後から混雑した。利用客はスマートフォンで運行状況を確認し、勤務先などに連絡。窓口には、切符の払い戻しを求める客の列ができた。

就職活動で大阪市へ向かう途中だった岡山大4年山本有悠さん（21）は「（志望企業の）説明会に参加しないと面接などに進めない」と聞いている」と表情を曇らせた。

修学旅行の延期を決めたのは県立井原高校。18日か



被災地支援のための医療用具などを車に積むAMDA職員（岡山市北区で）

交通

ら3泊4日で東京に向かう計画で、JR福山駅から午前9時頃の新幹線に乗る予定だった。駅のコンコースで運転再開を待ったが、生徒の安全や体調などに配慮して延期を決定。同校は「自然災害だけにどうしようもない。思い出に残る修学旅行なので、改めて日程を調整する」としている。

在来線の運行も大きく乱れた。JR西日本岡山支社によると、18日午後4時現在で、山陽線は三石駅（備前市）、赤穂線は日生駅（同）より東の区間でそれぞれ運転を見合わせているほか、岡山―鳥取間の特急「スーパーいなば」計8本が運休や部分運休した。瀬戸大橋線は午後1時30分頃にほぼ正常運転に戻ったが、快速マリンライナーなど計10本が運休や部分運休し、約1700人に影響が出た。

高速バスを運行する両備グループによると、大阪線や京都線など倉敷・岡山発の5路線計71本（共同運行含む）が運休した。19日は通常通り運行する予定。

流通

近畿・中国エリアでスーパーを展開する「山陽マルナカ」（岡山市南区）は、大阪府内11店舗のうち3店舗の営業を中止。交通渋滞で輸送が遅れているといい、19日以降も影響が懸念されるといふ。広報担当者は「各店舗とも、生鮮食品の入荷が遅れている。売り上げに影響が出そう」と話していた。

支援

国際医療NGO「AMDA（アマダ）」（本部・岡山市北区）は被災地支援について情報収集を行う調整員の派遣を決定。18日午後1時頃、職員2人が医療品やヘルメット、非常食などを車に乗せ、大阪方面へ向かった。

また、大阪府高槻市と災害時の相互応援協定を結ぶ真庭市は、地震発生直後に高槻市に連絡。「今は応援の必要はない」との返事だったといい、太田昇市長は「応援の要請があれば対応する」と話した。